



平成30年12月10日

報道機関 各位

富山大学学長裁量経費採択企画

ラフカディオ・ハーン研究国際シンポジウム 開催のお知らせ

平成30年12月15日（土）10時00分～17時00分、ラフカディオ・ハーン研究国際シンポジウムを開催します。

基調講演者に全米ハーン協会会長のスティーヴ・ケンメ氏をお迎えして「ラフカディオ・ハーンにおけるジャーナリズムの自己言及スタイルの起源（The Roots of Lafcadio Hearn's Self-Referencing Style of Journalism）（英語、通訳付）」と題してお話しいただくほか、学外から専門研究者のレイ・ソロ・マルティネル氏およびロジャー・ウィリアムソン氏、学内からは富山大学小泉八雲研究会のメンバーが今年の研究成果を発表します。入場無料。取材いただければ幸いです。

記

日時：平成30年12月15日（水）10時00分から17時00分

場所：人文学部3階第6講義室

（詳しくは別添チラシをご参照ください）

以上

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学人文学部人社系総務課（人文担当）

Tel : 076-445-6131

Fax : 076-445-6141

2018年度学長裁量経費採択事業
富山大学ラフカディオ・ハーン研究国際シンポジウム

日時：2018年12月15日(土)
場所：富山大学人文学部第6講義室

【午前の部】

- 10:00－10:30 研究発表①.....中島 淑恵
『恋する死女』翻訳をめぐるーゴージェ、ハーン、芥川
- 10:30－11:00 研究発表②.....水野 真理子
ハーンとエツ・スギモトー日本文化論の系譜を探る
- 11:10－11:40 研究発表③.....結城 史郎
『ユーマ』における精神風土ーアイデンティティ形成の礎
- 11:40－12:10 研究発表④.....小谷 瑛輔
人文学部日本文学分野における小泉八雲を対象とした卒業研究指導

【午後の部】

- 13:30－14:30 基調講演(英語:通訳付).....スティーヴ・ケンメ
The Roots of Lafcadio Hearn's Self-Referencing Style of Journalism
- 14:40－15:10 研究発表⑤(仏語:通訳付).....ルイ・ソロ・マルティネル
Paul Claudel－Lecteur de Lafcadio Hearn
- 15:10－15:40 研究発表⑥.....武田 昭文
ヘルン文庫ロシア語ロシア文学関連書籍調査報告
- 15:40－16:20 研究発表⑦(英語・通訳付).....ロジャー・ウィリアムソン
An American in Japan : Thoughts about the 150th Anniversary of
Lafcadio Hearn's Arrival in Cincinnati

16:20－17:00 全体討論

問合先：富山大学人文学部中島研究室(foshie@hmt.u-toyama.ac.jp)
富山大学ヘルン(小泉八雲)研究会www3.u-toyama.ac.jp/hearn/